

## 厚生労働科学研究（障害者政策総合研究事業）

R6-8年度 技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究  
（研究代表者：浅見 豊子 佐賀大学）

## 運動器系補装具

R6年度課題：判定業務の効率化の検討および支給基準の見直し。

- ◆ 判定業務の効率化：全国の更生相談所に対するアンケート調査を実施中。
  - ・ 判定に関する課題整理：判定に関わる職種、配置状況、直接判定・文書判定件数等の実態調査
  - ・ オンライン判定に関するニーズ調査：常勤医師のいない更生相談所等が判定に関する相談を依頼できる「オンライン更生相談室」の必要性と課題について調査。
  
- ◆ 借受け制度関連：借り受け制度の運用可能な試案の作成の判定を含めた運用と効果検証
  - ・ 医療から生活への移行にあたって障害者が必要とする補装具の抽出と、民間事業者が本制度の運用にあたって参加できる価格や運用方法について思案を作成。
  - ・ 借受け制度の運用上の課題について更生相談所へアンケートを実施中。
  
- ◆ 車椅子・電動車椅子・姿勢保持装置
  1. 令和6年の基準改定で基本価格が新設され、モジュラー型を主とした価格体系に変更となった。そのため用語や算定方法が変更となり、判定において迷う点も多いと予想される。
  2. 姿勢保持を主目的とする姿勢保持装置と移動機能を主目的とする車椅子・電動車椅子に関して、お互い重複した機能を持つことが多く、適切な種目を判断するのが難しい。
    - ・ 全国の更生相談所に対して1)、2)の項目についてアンケート調査を実施中
      - 1) 令和6年の基準改定における問題点について
      - 2) 「車椅子・電動車椅子」と「姿勢保持装置」の種目分類と判定について

## ◆ 3Dデジタル技術の導入に関する調査項目の検討

### ①具体的な価格算出に必要な調査項目の作成

身体形状の獲得

#### 【石膏包帯法】

1. 体幹装具の採型区分別の件数
2. 採型に使用するギプスの種類  
※使用包帯の単価 ( ) 円
3. 採型に使用する石膏包帯の個数
4. 採型に要する時間 ( ) 分
5. 石膏包帯法によるやり直し回数など,

#### 【3D技術 3Dスキャン】

1. スキャンに用いる機械の種類
2. スキャンに用いる機械の単価
3. スキャンに要する時間
4. 1回のスキャンでのロスト回数
5. ソフトのライセンス費用など

陽性モデル修正

#### 【石膏】

1. 陽性モデル作成に要する時間
2. 使用する石膏の量, その他材料
3. 修正に要する時間

#### 【3D技術 3D CAD】

1. CADソフト費用
2. CAD修正に要する時間
3. CAD-PC, 通信費用

↓ 自社で切削機械でモデル出力をする場合

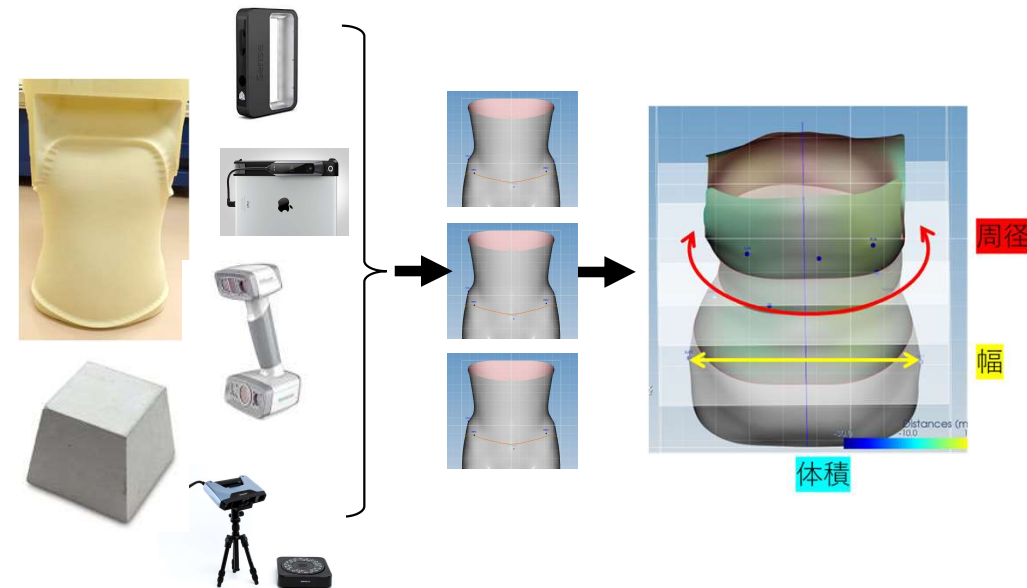
1. CAM機械の費用
2. ウレタンブロックの単価
3. 切削に要する時間など

↓ 外注：セントラフファブリケーションなど

1. 削りだし費用
2. 発注から納品までの日数

### ②機器の機能および性能等の評価

- ・ 体幹を想定したモデル, 規格ブロックを, 精度の異なるスキャナ複数台で形状獲得
- ・ 3D-CADソフトで周径, 幅, 体積を比較  
= 身体の形状獲得に必要な精度や機能を具体化



- ・ 3Dデータ管理や個人情報保護に関するガイドラインの策定が必要

## 重度障害者用意思伝達装置

### 課題

1. 本体において、専用機器とPCに専用ソフトウェアを搭載した機種に分かれており実情に合った価格体系となっていない。
2. 呼び鈴・呼び鈴分岐装置の利用について機器が多様化しており名称・基準が実情にあっていない
3. 重度障害者用意思伝達装置はその特性上、居宅での試用・適合・設定などが必要になるがその内容についての費用は制度上明確でない

### 研究目的

専用機器とPC+ソフトウェアの価格設定の違い、呼び鈴に関わる製品の定義、重度障害者用意思伝達装置の導入に関わる費用などを明確化する。

- 1) 、 2) について現在調査・測定を実施中。
  - 1) 業界団体への調査 呼び鈴分岐装置に関する製品について  
PC+ソフトウェアと専用機器の価格について  
出張費などについて調査
  - 2) 重度障害者用意思伝達装置の新規導入に関して  
実際の導入場面における  
試用、適合判定、調整などに関わる時間の測定

## 視覚系補装具

- 視覚障害に関する補装具についての情報発信（令和5年度から継続）

補装具を利用する視覚障害者、選定や支給、訓練、販売に関わる関係者等、補装具に関わるすべての方を対象として、9月より計7回（月に1回、約1時間）視覚障害に関する補装具の基礎知識を周知することを目的として、勉強会を実施。勉強会参加登録者へのアンケートも行い、効果および課題の検討予定。

- 視覚障害に関する補装具のアセスメントおよびフォローアップシートの試作

制度を用いて購入した補装具をうまく活用できず、使用しなくなったという報告を受け、購入時のアセスメントおよび購入後のフォローアップシートの試作研究を実施。

先行研究において参考とできるものがないため、十分な根拠が不足している場合に専門家集団の合意に基づく見解を根拠として呈示するデルファイ法のうち、意見集約における匿名性は保持した上で、専門家集団が顔を合わせて「対面式の検討」を行う修正デルファイ法を用いて検討。

医師、視能訓練士、歩行訓練士、義眼作成者、眼鏡作成技能士、看護師等の専門職、各補装具を使用する視覚障害者でチームを作成し、試作に向けて検討中。

### 【令和7年度計画】

- ・ 視覚系補装具の価格調査
- ・ アセスメントシート・フォローアップシートの試行と効果検証
- ・ 視覚障害者のための補装具費支給ガイドブックの作成

## 聴覚系補装具

### 1. 自治体独自の補聴器購入に係る助成制度の実態調査

現在、身体障害者に該当しない軽度および中等度の聴力レベルの難聴者に対して、自治体独自の補聴器購入に係る助成制度（独自助成制度）を実施している自治体が増加している。こうした助成制度は自治体毎に助成の内容が異なることから、実態を把握するための調査を実施している。

（方法）

厚生労働省 調査・照会（一切調査）システムを利用し、全国の1741市町村に調査票を配布し、調査を行っている。（1月20日締切）

【調査項目】

- ・ 助成制度の有無及び支給実績について
- ・ 補聴援助機器の支援状況について 等

### 2. 補聴器フィッティング作業に要するプロセスの明確化

適正な補聴器支給価格決定には、補聴器の設計から製造・販売に至るプロセスでの各経費を明確にする必要があるが、最初の段階としてまず補聴器販売店における販売および調整・試聴・継続的装用の各プロセスについての実態調査を実施している。

（方法）

全国の認定補聴器専門店999店舗に対し、オンラインフォームで調査を行っている。（1月26日締切）

【調査項目】

- ・ 補聴器フィッティング作業に要する時間について
- ・ 補聴器フィッティングに係る項目について 等